

研究協力をお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

なお、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：直腸神経内分泌腫瘍の各内視鏡治療法における有用性の検討

1. 研究対象者および研究対象期間

2015年1月から2025年12月までに岐阜県総合医療センターで直腸カルチノイドに対して内視鏡治療を行った患者様

2. 研究目的・方法

直腸神経内分泌腫瘍は10mm以下であれば腫瘍が浅層に留まっていることが多く、リンパ節転移のリスクが極めて低いため、内視鏡切除の対象となります。2019年膵・消化管神経内分泌腫瘍ガイドラインでは直腸神経内分泌腫瘍の標準的な内視鏡治療として、内視鏡的粘膜切除術(EMR)、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)が挙げられる他、内視鏡キャップを用いたEMR-Cや、結紮用デバイスを用いた内視鏡的粘膜下層切除術(ESMR-L)が提唱されています。当院ではESMR-Lを採用することが多いですが、各々の手技により短期的および長期的な治療成績にどのように影響がでるかについてはまだ結論がでていません。10mm以下の直腸神経内分泌腫瘍に対して内視鏡治療を行った患者様を対象に、治療法別に完全切除率、治療時間、合併症や転帰を調査し、より良い治療法について検討することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

それぞれの内視鏡治療法で採取した直腸神経内分泌腫瘍の病理組織学的特徴(病変サイズ、垂直・水平断端の有無、脈管侵襲の有無など)、合併症、背景疾患、血液検査結果、追加治療の有無、転帰など

4. 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

岐阜県総合医療センター 消化器内科 山崎健路

電話番号:058-246-1111